

令和6年度 第1回明石市都市景観審議会 議事概要

日 時	令和6年7月8日（月）午後2時から午後3時30分まで
場 所	議会棟2階 第3委員会室
出席者	八木会長、辻副会長、栗山委員、竹内（利）委員、森川委員、安谷委員 竹内（高）委員、安尾委員

1. 開 会（14:00）

2. 公開・非公開の決定

会議の公開、非公開について審議を行い、公開と決定。

傍聴者（4名）の報告。

3. 議 事

報告・協議事項

(1) 景観計画策定にあわせた基本計画の見直し

～事務局より説明～

【委 員】

- ・景観計画の策定にあたって基本計画の時点修正は必要と思います。
- ・基本計画の改定においては、現行計画の何がうまくいって、何がうまくなかったかを総括し、さらに良い計画へ改定していただきたいです。
- ・市民には総括や経緯をしっかりと理解いただいたうえで意見をもらってください。

【事務局】

基本計画の総括については、改定後、反映できていなかったところなどは市として検証し、整理したうえで公表することも視野に入れております。

【委 員】

うまくいったことだけでなく、うまくいかなかったこともさらけ出すべきです。うまくいかなかったところを反省しないと良い計画にはなりません。

【委 員】

総括の結果については、次回にでも示していただきたいです。

(2) 市民意識の調査

～事務局より説明～

【委 員】

アンケートや写真に応募するとどうなるのかがチラシでは分かりづらいですね。

【事務局】

アンケートについては、景観計画策定や基本計画改定において市民が参加したと分かる形で公表したいと考えております。写真については、パンフレットやホームページに掲載するほか、何らかの形での公表を検討しております。

また、ワークショップの題材として活用できるようにも考えております。

【委員】

様々な意見に流されないよう、歴史や経緯を踏まえたうえで、市としての回答を想定しておいてほうがよいと思います。

【事務局】

景観は人それぞれ感じ方が異なるため、市が意図していない、ギャップのある結果も出てくるかもしれませんが、市はそれを課題として捉えるべきと考えております。

【委員】

「景観」という言葉の定義は我々でも難しいものです。ましてや市民はなおのこと。定義付けはされていますか。写真の応募にあたって、市民に分かるような定義の説明が必要ではないでしょうか。

【事務局】

基本計画の冒頭で定義づけております。募集の文言については、再度検討いたします。

【委員】

アンケートがただの人気取りにならないよう、集まった結果をどうするのか、行政として「こうなってほしい」というストーリーを組み立てておくべきだと思います。

【事務局】

次の世代につなげたいという思いもあって10年後、20年後というタイトルにいたしました。まずは市民の実直な意見を聞きたいと思います。人気取りになってしまう側面もありますが、結果を市で分析し、ワークショップでさらに掘り下げた議論をすることで、大きな方向性を確認したいと考えております。

【委員】

- ・明石市のことをあまり知らない写真の上手な方が、画角だけで応募してくる可能性もありますよね。市民の思いを聞きたいのであれば、応募フォームにはその撮影場所を選んだ理由やエピソードも聞いた方がよいと思います。
- ・市民の思いを聞きたいなら明石市民に限定しても良いのかもしれませんがね。
- ・他都市の事例として、「名古屋市まちなみセレクション」では、写真と共に応募者の意見や思いを、実名付きでホームページに掲載していました。市民の生の意見を引き出すための良い手法だと思います。

【事務局】

再度検討いたします。

【委員】

- ・これまで「景観」という言葉を使ってきましたが、今回「風景」という言葉も使われていますよね。分かりやすくするためだとは思いますが、混乱を招くので混在は避けた方がいいかもしれません。

- ・景観の定義について、私は「人との関わり」だと考えていますが、ほとんどの人が「風景」と混同している中で、どう捉えるかが難しいですね。

【委員】

実施期間が短いのではないのでしょうか。件数が集まらなければやる意味がないので、もう少し検討された方がよいのでは。

【会長】

今回のアンケートでは、「改善したい」の部分がとても重要に感じます。改善すべき情報を擷き上げることにより計画に向かうと思われま。

【委員】

「ひょうごの橋・トンネル 150 選」のように、行政からの情報提供によって、良い景観や景観形成を浮かび上がらせることができますね。

【会長】

景観については広く意見が出るので収集がつかないケースもあると思いますが、基本的には「いいとこさがし」の観点で取り組んでほしいです。自然に溶け込んでいる明石の景観を振り返り、積み上げてきた歴史についてはしっかり検証したうえで、小さな変化に対する情報発信の仕方を工夫していただきたいです。

(3) 関連上位計画及び現行基本計画の確認

(4) 今後のスケジュール

～事務局より説明～

【委員】

- ・現在計画中の播磨臨海道路は景観に大きな影響を与えると思うので気になります。国との連携が重要であり、明石としての景観形成のあり方を考えておいてほしいです。
- ・現行の高度地区規制ではやや不十分と思われるので、景観形成としての規定を充実していただきたいです。
- ・景観においては、橋脚等を含めた鉄道のある風景が注目されているので、そういった動向も注視していただきたいです。

【事務局】

播磨臨海道路については、景観への影響も大きくなるのが想定されます。明石市は少し掠る程度ではありますが、都市部だけでなく自然豊かな地域を通ることになりますので、国や県との連携に努め、広域の景観形成として考えてまいります。

【会長】

それでは事務局からの説明があったとおり、景観計画の策定について今後も引き続き審議を進めたいと考えております。

4. 閉会 (16:00)